

「広島神楽」定期公演へようこそ!

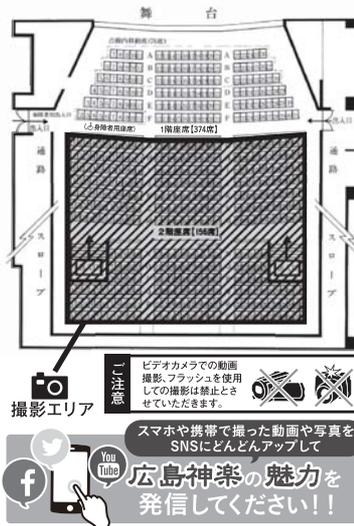
本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。
ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- (1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
- (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
- (3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
- (4) 撮影について
→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。
※ビデオカメラでの**動画撮影**、**フラッシュの使用は禁止**します。
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

撮影エリアについてのご案内

写真撮影をご希望の方は必ず、下記の撮影エリアをお願いいたします。



4月18日のタイムスケジュール

出演：栗栖神楽団 (廿日市市)

19:00～開演

19:05～第一幕『塵倫』

(およそ40分)

～幕間(休憩)～

20:00～第二幕『鍾馗』

(およそ40分)

20:45～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。本日の記念には是非ご参加下さい。また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。(舞台へは靴を脱いでお上がください。)
※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

くりすかぐらだん

栗栖神楽団プロフィール ～廿日市市～

昭和32年、栗栖地区の住民たちが郷土発展のためにと矢上系山県舞(六調子旧舞)を伝承し、栗栖神楽団として発足致しました。現在10代から50代の団員で郷土芸能の伝承発展のため日々精進しているところです。

まだまだ経験不足で技術的にも未熟ですが、「神楽を舞わせて頂く」という感謝の気持ちを忘れず一生懸命頑張りたいと思っております。

皆様方にはこれからも引き続きのご愛顧、ご指導の程をお願い申し上げます。

第一幕『塵倫』(じんりん)

異国から日本征伐を企て、攻めてきた数万騎の軍勢の中に、翼を持ち、黒雲に乗り、天空を自由に駆け巡る、神通自在の大將軍塵倫がおり、村里を荒らし多くの民を滅ぼしていました。そこで第14代仲哀天皇(帶中津日子命)は従者竹丸と共に、塵倫に立ち向かい、激しい戦いの末に見事塵倫を打ち滅ぼし、天下泰平の世をもたらしたという物語です。

【出演】

大太鼓	山本 洋治	帶中津日子命	岩崎 義隆
小太鼓	益本 卓也	竹丸	松浦 幸大
手打鉦	吉本 登志充	塵倫	山崎 大介
笛	山崎 萌香		

第二幕『鍾馗』(しょうき)

素戔鳴尊が唐(から)の国にいた時、鍾馗大神と名乗り虚耗(きょう)という悪疫神を退治しましたがその一族の残党がわが国に渡来し、大疫神となり人々を悩ましており、茅の輪の威徳をもってこれを退治するという物語です。

鍾馗大神は左手に茅の輪、右手に矛(ほこ)を持って舞い、茅の輪によって、魔術で身を隠している疫神の姿を探り、合戦の末にこれを征伐するというものです。

茅の輪は、これをくぐれば疫病から逃れることができるという伝説にもとづき、茅の輪くぐりの祭事が、今でも続けられている神社があり、災疫の護り神として信仰され祭られているのです。

【出演】

大太鼓	山本 洋治	鍾馗大神	松村 和信
小太鼓	吉本 登志充	大疫神	藤原 響
手打鉦	山崎 大介		
笛	山崎 雅也		

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。